

港区教育委員会教育長賞

豊かな自然と開拓

神応小学校 関根 琳

ぼくは、ムササビが生活できる森が減っているとテレビで知りました。なぜこんなことになっているのでしょうか。それは、人々が生活している中で使用する道路になったり、ゴルフ場に開拓されたりしているから。つまり、人々の生活の利便のために、豊かな自然が失われているのです。ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは福島県須賀川市に住んでいます。くわしく言うと福島空港の近くの自然が沢

山ある方の狸森むじなもりと言う所です。場所説明で言いましたが、自然が沢山あり、アブがいない春は川でサワガニをとって食べたり、夏にはトラップをしかけてカブト虫をとったり、冬は雪で遊んでいます。このようにとにかく自然に囲まれた良い所です。

狸森はカントリークラブが一つあるぐらいしか大きな建物はありませんが、もしも大きい建物が建ってしまったらどうなるか考えてみました。山には温泉ができて、地下には温泉の湯を流すための管がうめられます。そして、おみやげ屋が沢山できたら、道路も沢山できます。こうなると自然が減ってしまいます。すると地名の由来になっている

狸や鳥、猪が減ってしまいます。そして環境がはかいされた事になるのです。ぼくはあまり大きな建物は建ってほしくありません。なぜなら、今の豊かな自然が無くなってしまふことはもったいないと思ったからです。

このように狸森はあまり大きな建物は建っていませんが、もしも建ってしまったら残念です。

ぼくは自然が豊かにある狸森が大好きです。でも自然が無くなってしまったら、ぼくはとっても悲しいです。ぼくは、日本各地の自然を守るために、ゴミをポイ捨てしないなど、自分のできる事をしていきたいと思います。そして、ぼくの大好きな狸森を守り続けていきたいです。